OpenRTM-aist (C++) - 整備 #4571

Windows用OpenRTMConfig.cmakeへrtmCamera, rtmManipulator用変数を追加する

2018/07/23 09:44 - n.kawauchi

ステータス:	解決	**開始日:**	2018/07/23
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:	n.kawauchi	**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:	RELENG_1_2		

説明

- 下記変数を新たに定義する

```
RTM_CAMERA_INCLUDE_DIR:  rtmCamera  include  dir
RTM_CAMERA_LIB_DIR:  rtmCamera's  lib  directory
RTM_CAMERA_LIBRARIES:  rtmCamera  libraries
RTM_MANIPULATOR_INCLUDE_DIR:  rtmManipulator  include  dir
RTM_MANIPULATOR_LIB_DIR:  rtmManipulator's  lib  directory
RTM_MANIPULATOR_LIBRARIES:  rtmManipulator  libraries
```

- また、サフィックス（バージョン番号、VCバージョン等）も変数で定義されるようにテンプレートを修正する
- OpenRTM-aist
  1.2.0版で、VCバージョンがVC2013の場合、omniORB4.2.2の場合、生成されるOpenRTMConfig.cmakeには下記が追加されるようにする

```
set(RTM_DLLVER  120_vc12)
set(COIL_DLLVER  120_vc12)
set(OMNI_DLLVER  422)
set(OMNITHREAD_DLLVER  40)
```

履歴

#1 - 2018/08/07 10:25 - n.kawauchi

- ステータス を 新規 から 解決 に変更

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

- r3396にてOpenRTMConfig.cmakeを生成するcmakeconfgen.pyスクリプトと、このスクリプトの引数として渡すrtm_config.vspropsの対応完了。
  しかし、この修正にてvc2008のみビルドが通らなくなる。

- r3397にてvc2008のビルド不具合の対応完了
  - 不具合詳細
    - 「'coil${COIL_DLLVER}.lib' を開けません」というビルドエラー、他
    - rtm_config.vspropsがvcprojファイルのプロパティシートとして利用された場合に発生した。
      これに該当するのはvc2008のみで、vc2010以降はvcxprojファイルでrtm_config.propsを利用しているため影響がなかった。
  - 対応方針
    - 今回の修正で、OpenRTMConfig.cmakeの中でバージョン番号が直書きになっていたものを変数で置き換えている。
      本チケット説明で記載したように、COIL_DLLVERの変数はcmake実行時に展開されればよいとの考えで、OpenRTMConfig.cmakeの最初に
      「set(COIL_DLLVER 120_vc12)」のように定義されるようにした。
    - OpenRTM-aistでのvc2008サポートはバージョン1.2までとなる見込みなので、rtm_config.vspropsへvc2008の対応のためだけの設定は加えない方がよいと判断した
    - 今回の修正を加える前のrtm_config.vspropsならば、vc2008のビルドが通る。そこでこの内容を新たな設定ファイルrtm_config_vc9.vspropsとして用意した。
    - vc2008の場合、OpenRTMConfig.cmakeを生成する場合はrtm_config.vspropsを使用するが、vcprojファイルを生成する場合はrtm_config_vc9.vspropsを読み込むようにすることで不具合が改善した。
    - 修正対象は、vcprojtool.py、各yamlファイル